

# 留学体験（現地）レポート

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21015111

星山ゆり

今回の派遣留学で私は9月3日から12月24日までの約4ヶ月間韓国に留学した。そこで留学での体験をいくつか紹介する。

初めに韓国での生活において一番大変だったことだ。それは虫に刺されることだ。韓国の蚊は日本の蚊よりも刺されたらかゆみと腫れがひどい。特に寝ている間に刺されることが多く、起きると何か所も刺されていて大変だった。夏は部屋に撒くスプレーや虫刺され用の薬を用意しておくといいたろう。

次に食べ物だ。韓国料理は辛いイメージがある。私は辛い食べ物が苦手だ。なので、留学前は食べ物に不安があった。しかし、心配はいらなかった。お店や大学の食堂は韓国料理以外にも和食や洋食があり、辛いのが得意な人は辛い料理を食べることができ、苦手な人は辛くないメニューを食べることができる。最初は心配だったが、韓国料理は全部が全部辛いわけではなく、とても美味しいので辛い料理も少しずつ食べられるようになった。

次に留学ならではの体験についてだ。それはクラスのみんなどの交流だ。クラスは外国人が多いため会話はもちろん韓国語となる。授業終わりにみんなで食事をすることもあった。私たち国情生はみんなより帰国が早かったため帰る前に食事会を開いてくれた。外国人と交流する機会は留学でしか経験できないことなのでとても貴重な経験となった。また、韓国人との交流も留学ならではの。ある日お店に行くと、私が韓国語を話したら上手だと褒めてくれた。このとき、とても嬉しかったのでもっと韓国語が上手になりたいと感じた。韓国人と実際に韓国語で会話して交流することで韓国語の学習をもっと頑張りたいと感じた。

最後に留学中は韓国の観光地にたくさん行くことができる。韓国の観光地は日本語を話せる人や日本語のパンフレット、日本語表記の看板が多くあるため日本人にとってとても分かりやすい。また、留学先の大学ではトウミ制度という留学先の韓国人の学生が私たち留学生に1人ずつ付き交流する制度がある。韓国語を教えてくれるのはもちろん、観光地にも案内してくれる。さらに、大学の現地学習でもいろんな観光地に行くことができる。

このように、留学はたくさんを経験することができる。また、留学は行く前よりその国に対する見方が良い意味でとても変わる。国際化の現在、国際理解を深めるためには実際に留学に行ってその国の文化を自分の目で見て経験することが大切だ。